

令和2年度 第5回 寒川町地域自立支援協議会 次第

令和 3年 1月29日 (金)

1. 議 題

(1) 議事録承認委員について

議事録承認委員について、次第裏面の委員名簿の順番により、2名ずつお願いさせていただきます。第5回は、吉村委員、兼崎委員の順番となります。

(2) 相談支援事業所からの報告【資料1】

○すまいる

(新規相談) 成人3名 児童2名

11月

- ①児童発達支援を利用中の児童のご両親より。来年度小学校にあがることに伴うサービス（放課後等デイ）利用の相談。児童発達支援事業所と役割分担しながら対応。

12月

- ①20代。発達障害、軽度知的障害の診断ある女性。
藤沢の就労移行支援事業所より相談。2年利用が経過したところでの今後の通所と生活面について。
- ②児童発達支援利用中の6歳児童。就学時の放課後等デイの調整について。
- ③今まで療育手帳を所持していなかった（現在申請中）40代知的障害の女性。
現在一人暮らしだが、生活面に諸々の課題があるため、サービス利用を含め生活全般について。
- ④平塚保健福祉事務所から相談のあった生活保護受給の50代男性。現在住んでいるところの退去を迫られており、福祉課、基幹相談支援センターと共に今後の支援について検討を行っている。

(その他課題等)

- ①放課後等デイ利用に伴う児童（2名）について
→共に家族のフォローも必要な状況であるため、新規の計画相談として入る事になった。
- ②障害特性に合わせた対応
→事業所や家族とのやり取りに課題もあり、第三者に入っていただき相談を行っていく事も検討。
- ③町に経済的虐待通報であがった60歳男性について。
→一時保護という形で通所先の短期入所施設で過ごされている。
金銭管理等含め、在宅に戻った際の新たな支援体制を整えている。

○ゆいっと

保育園・幼稚園訪問 4 回実施

(新規相談) 成人 4 名

11 月の新規 2 名については、福祉的就労含め「就労」希望者。

共通しているのは、前回の福祉サービス利用から数年が経過していること。

12 月の新規 2 名については、ともに知的障がいがありここ数年は完全在宅となっているケース。一人は自分からの相談だったが、もう一人については本人よりも家族が困っている（心配）ことでの相談であった。

(その他課題等)

①地域移行・自立生活に向けての支援対象が増えてきている。

→おひとりは、自宅を出ての一人暮らしの希望が出ており、実現時には地域定着支援も視野に考えていきたい。

②11 月の新規利用者 2 名について

→委託相談、計画相談としていかに継続的かつ能動的に対象者へ関わっていけるか、福祉サービスだけでなく必要な資源や協力者をどう巻き込めるかが課題。

③児童期においては保育士支援等の活動があることで掘り起こされる相談やニーズも出てくるが、成人期の場合はそのような場や機会が極端に少なく、数年間どころも関りを持たずに生活をしている方がいる。

アウトリーチ機能を委託相談事業所でどのように作っていくかが課題。

○基幹相談支援センター

今年度の活動について、来年度第 1 回の自立支援協議会において、報告させていただきます。

(3) 第 4 回寒川町地域自立支援協議会における質疑・意見・・・【資料 2】

(4) 寒川町障がい者福祉計画について・・・【資料 3-1、3-2】

○パブリックコメント実施結果（案）について

提出された意見とそれに対する町の考え方を記載しております。

結果の公表につきましては、部内会議、全庁会議後に、議会（3/9 予定）での承認を得た上で行う予定ですので、資料の取り扱いにはご注意ください。

また、公表する内容につきましては、資料 3-1 の 1 枚目（パブリックコメント実施結果の概要が記載されている用紙）と 2 枚目（意見の要旨と町の考え方が記載された用紙）とさせていただきます。

○寒川町障がい者福祉計画（案）について

前回会議で頂いた意見をもとに修正をしております。また、P. 60 下段の令和 5 年度中の就労定着支援利用者数につきましては、4 人となっておりますが、国の目標値を達成するよう 7 人に修正をいたしました。P. 60 の修正に伴い、P. 71 の就

労定着支援の見込みも修正しております。

さらに、5章の後に資料編を加えております。計画策定の経過等、現時点で確定していない内容が含まれており、今後、追記・修正が必要となる部分がありますので、その点につきましては、ご了承頂ければと思います。

【会議資料】

資料1 相談支援事業報告集計（すまいる、ゆいっと）

資料2 令和2年度第4回寒川町地域自立支援協議会資料における質疑・意見集約表

資料3-1 パブリックコメント実施結果（案）

資料3-2 寒川町障がい者福祉計画（案）

令和2年度 第5回 寒川町地域自立支援協議会名簿

| | 委員（選出区分） | 氏 名 | 所 属 | 備 考 |
|----|---------------------|----------------------|-------------------------------------|-----|
| 1 | 当事者・家族 | おおにし ようこ 大西 洋子 | 当事者家族 | |
| 2 | | はせがわ なおこ 長谷川 尚子 | 寒川町聴覚障害者協会 | |
| 3 | | やまね のぶこ 山根 信子 | 寒川町手をつなぐ育成会 | |
| 4 | | おさだ すみよ 長田 澄代 | 寒川町視覚障害者福祉協会 | |
| 5 | | たきもと さとし 瀧本 聡 | 特定非営利活動法人 ともだち | |
| 6 | | おがわ はら ひさえ 小川原 寿恵 | 茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会 (茅ヶ崎・寒川やまびこ会) | |
| 7 | | よしむら としゆき 吉村 利幸 | S K卓球協会 | |
| 8 | 障害福祉関係団体職員 (支援者) | 欠 員 | 茅ヶ崎・寒川ホーム連絡会 | |
| 9 | | かねざき さおり 兼崎 さおり | 寒川町障害者事業所連絡会 (地域活動支援センター F (エフ)) | |
| 10 | | うちやま たいすけ 内山 泰祐 | 寒川町障害者事業所連絡会 (自立支援事業所かっぱどっく) | |
| 11 | いなば やすひろ 稲葉 康宏 | 社会福祉法人 寒川町社会福祉協議会 | | |
| 12 | 地 域 | ふじおか たつお 藤岡 達雄 | 寒川町自治会長連絡協議会 | |
| 13 | | やまむら たまえ 山村 玉恵 | 寒川町民生委員児童委員協議会 | |
| 14 | 医療機関 | なかの くみこ 中野 久美子 | 医療法人社団朋友会 けやきの森病院 | |
| 15 | 行政機関 | たかはし ようこ 高橋 陽子 | 神奈川県中央児童相談所 子ども相談課 | |
| 16 | | いのうえ いくこ 井上 郁子 | 茅ヶ崎市保健所保健予防課 | |

| | オブザーバー | 氏 名 | 所 属 | 備 考 |
|----|-------------------------------------|-------------------|---------------------------------|-----|
| 17 | 湘南東部 障害保健福祉圏域地域生活 ナビゲーションセンター | なかだ まな 中田 麻奈 | 湘南東部障害保健福祉圏域地域生活 ナビゲーションセンター | |
| 18 | 相談支援事業所 | ないとう すぐる 内藤 傑 | 生活相談室 すまいる | |
| 19 | 相談支援事業所 | さとう としひこ 佐藤 敏彦 | 寒川町障がい者相談支援事業所 ゆいっと | |

| | 事務局 | 氏 名 | 役職・担当 | 備 考 |
|----|------------------------|-------------------|---------------------|-----|
| 20 | 生活相談室 すまいる | ゆだ ふじえ 湯田 富士枝 | 事務員 | |
| 21 | 寒川町障がい者相談支 援事業所ゆいっと | さいとう ゆうこ 齋藤 優子 | 相談員 | |
| 22 | | たなか えり 田中 恵理 | 相談員 | |
| 23 | さむかわ基幹相談支援 センター | やまだ だいご 山田 大悟 | 所長 | |
| 24 | | たなか ひでみ 田中 秀巳 | 相談員 | |
| 25 | 寒川町福祉部 | かめやま ひろし 亀山 浩 | 福祉部長 | |
| 26 | | なかざわ えいこ 中澤 栄子 | 福祉課長 | |
| 27 | | ちの あずさ 千野 あずさ | 福祉課 障がい福祉担当 副主幹 | |
| 28 | | はかまだ ともこ 袴田 智子 | 福祉課 障がい福祉担当 主査 | |
| 29 | | あまの ようすけ 天野 陽介 | 福祉課 障がい福祉担当 主任主事 | |
| 30 | | あさか りよう 浅香 亮 | 福祉課 障がい福祉担当 主任主事 | |
| 31 | | しおはら ますみ 塩原 真澄 | 福祉課 障がい福祉担当 精神保健福祉士 | |
| 32 | | こやま あゆみ 小山 あゆみ | 福祉課 障がい福祉担当 精神保健福祉士 | |